

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		療育に必要なスペースはほとんどバリアフリーになっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		活動に合った空間であるよう配慮し、毎日清掃・消毒を欠かさず行っております。また、季節ごとに合わせた環境設備の点検等も実施しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		毎日、利用児童に合わせた環境設定を行い、個別に使用できる環境を整えております。また、集団で療育を行う場や専門の支援を行う場も設けております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		毎日、サービス提供前に職員が集まり支援について話し合う時間を設けております。また、定期的に評価や課題分析、業務改善についての話し合いを行い、共通理解に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年のアンケート結果をもとに保護者様のご意向を把握し、職員間で情報共有を行い業務改善に活かしております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日、職員で打ち合わせを行い意見や疑問を共有し、必要に応じて業務の見直しを行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		感染予防対策以降、外部研修は控えておりますが、本社配信の動画研修や事業所内研修は定期的実施しております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトで公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		定期的な保護者様との面談を通じて、作成前にアセスメントをおこない、児童の状況や成長・課題を確認し、支援計画に反映しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		面談・アセスメントにて保護者様のニーズや課題を把握後、職員で共有・意見交換をおこない、客観的に分析して支援計画を作成しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員全体に周知し、目標に沿った支援を行っております。毎日話し合いを行い、日々の支援を提供しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたアセスメントツールを用いて聞き取りをおこない、児童の特徴や状況を把握しております。	
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらひ及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインを遵守しております。児童の特性にあわせた項目を選択し、必要な具体的な支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		支援計画をもとにチームで立案・役割分担し、協力して支援を行っております。立案内容は日々の話し合いで見直し、より良い支援の提供に努めております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節ごとの製作や行事、個別療育に加えて小集団療育など、利用児童の状況に合わせた活動プログラムを提供しております。また、系列事業所との情報共有や専門職の手法も取り入れ、多彩な支援を行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		計画に基づき、個々の発達段階に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ対応しております。PDCAサイクルに基づく確認も怠らないようにしております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日職員で打ち合わせを行い、職員配置や環境設定を行っております。担当児童に限らず、全利用児童への共通理解と支援ができるよう情報共有に努めております。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	8		支援翌日の朝、前日の支援に対し、成功点・工夫点・気になる点を出し合い、次回利用時に活かせるよう取り組んでおります。勤務や業務の都合により参加できない職員へは、共有や連絡帳を活用して情報共有を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の療育内容・体調・生活状況などの気づきも記録し、職員間および保護者様と共有しております。保護者様からの連絡帳や口頭連絡をもとに、当日の状況を把握・把握し、支援改善に活かしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングや保護者様からの相談・日々の会話をもとにご要望を把握し、児童の状況や支援見直しの必要性を検討しております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		相談支援事業所が機能していないケースもあり、セルフプランで受給者証を取得される方が多いため、担当者会議は少ないですが、状況に精通した職員が参画し、必要に応じて関係機関との情報共有に努めております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて関係機関との連携に努めております。送迎時などに先生方とお話することもあり、連携を図って支援をおこなうよう努めております。	
関係機関や保護者との連携	26	推定利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者様を通じて情報を発信し、必要に応じて関係機関の先生方と連携をとっております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者様を通じて情報を発信し、必要に応じて関係機関の先生方と連携をとっております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会など部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		感染予防対策以降、外部研修等への参加は控えております。	今後は必要に応じて外部での研修等への参加を検討してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でのこどもと活動する機会があるか。	8		感染予防対策以降、外部での活動や参加は控えております。	今後は保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者様と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時の相談や家族支援を通じて園やご自宅の様子をうかがいながら、適切な助言に努めております。ごちから気づいた点をお伝えすることで、状況や課題の共通理解につながっております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラムのペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		感染予防対策以降、研修等の開催は控えております。ご相談をいただいた際は、必要に応じて時間を設け、個々の状況に応じた助言をおこなっております。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧に説明するよう努めております。また、質問やご不明点がないかなど確認しながら進めております。
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談・アセスメントにて保護者様のニーズや課題を把握後、職員で共有・意見交換をおこない、客観的に分析して支援計画を作成しております。計画の見直しはご要望に応じてその都度おこなうことが可能です。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		保護者様とお話の中でガイドラインに沿って支援計画を立て、ご意向や課題に相違がないかを確認し、十分な説明のうえ同意を得ております。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		連絡帳・送迎時・電話対応など保護者様とのコミュニケーションツールを活用し、ごちからからの気づきによるお声かけや家族支援での助言に努めております。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		感染予防対策以降、保護者様の就業状況の観点から、開催は控えております。	今後は保護者様のご意向をふまえ、必要に応じて開催の検討をおこなってまいります。
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者様からの申し入れやご相談は、職員全体で周知し、状況説明と可能な範囲での対応を迅速かつ丁寧におこなうよう努めております。	
41		定期的に通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		季節ごとのCOMPASS日より毎月の事業所だよりを発行し、公式ウェブサイトにて活動内容や児童の成長について報告しております。	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		口頭だけでなく、書面や提示カードも可能な限りの手段を用いて情報を伝達し、保護者様にわかりやすい説明を心がけております。	
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		感染拡大防止および個人情報保護の観点から、地域交流は控えております。	今後は保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定し、事業所玄関に見やすく掲示・周知しております。感染症対応は流行時期に応じてシミュレーションを行い、防災訓練は定期的にさまざまな状況を想定して実施しております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画を策定し、地震・火災等を想定した訓練を定期的実施しております。実施後は振り返りをおこない、共通理解と改善に努めております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	8		契約時や定期的なモニタリング時に必要な情報を詳細に聞き取り、全職員に周知・共有しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		対象となる児童がいる場合、保護者よりアレルギー調査票で医師の指示書の有無を含めて確認し、職員全体で把握し対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		ガイドラインに基づいた安全計画を作成し、定期的な研修や訓練を実施しております。安全管理については全職員で共通理解のうえ支援をおこなっております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		非常災害時の連絡先や避難場所・避難経路について、お手紙にてお知らせし、非常時に保護者様とスムーズな連携が図れるように努めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	8		ヒヤリハットは気づきと危険予防に重要と位置づけ、社内統一の様式を使用して報告書の作成・保管をおこない、標準化に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的な研修と職員のセルフチェックをおこない、虐待防止マニュアルに沿って適切な対応に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体保護のためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、保護者様の了解を得るようしております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。